



地域のチカラで“犯罪や非行のない社会”を



犯罪や非行をした人たちの立ち直りに寄り添い、それぞれの立場において力を合わせ、地域に根ざした支援を継続していくことで、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くために全国的に実施されている「社会を明るくする運動」を推進するため、7月4日(土)にザ・ビッグ養老店にて啓発活動を行いました。

啓発活動には、養老保護区保護司会と養老地区更生保護女性会、大垣養老高等学校MSリーダーズの生徒が参加しました。参加者は、安心で安全な地域社会を目指し、買い物客に対して啓発グッズを手渡ししながら“犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ”の推進を呼びかけました。

災害発生時に心と体温まる食事を届けるために



6月24日(水)に町赤十字奉仕団による炊き出し講習会が行われました。災害の発生に伴い、電気や水などライフラインが遮断された状況を想定し、家庭に常備されている食材を使ったメニュー(コーンポタージュおじや、かき玉にゆう麺、味噌マヨディップの野菜スティックの3品)を30人前調理しました。

町赤十字奉仕団は、炊き出しをはじめとした災害発生時の避難所運営サポートのほか、人道・博愛の精神のもと、募金活動やボランティア活動、高齢者や障がい者を励ます友愛活動などを行うことで、地域社会への貢献を図っています。活動に興味があり、誰かの助けになりたいという気持ちを持つ人は町社会福祉協議会(☎34-3504)までお問い合わせください。

休日の中学校部活動の「地域展開」を進めています

ページ番号
1003644

現在、町では国や県の方針に従い、休日の中学校部活動について「地域展開」を進めています。この取り組みは、少子化の中でも将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保できるよう、学校部活動を地域全体で支える仕組みに変えていこうとするものです。本町においては、令和5年度からこの取り組みに着手し、これまでに約7割の運動系部活動の休日の活動について、学校の先生(部活動顧問)ではなく外部指導者の指導を受けて活動を行っています。

しかし、外部指導者を確保できていない部活動については、引き続き学校の先生(部活動顧問)や保護者の協力により活動を続けているのが現状です。こうした現状を考慮し、町では県の人材バンクに対して指導者の派遣を依頼するとともに、スポーツ少年団をはじめとした町内の各種スポーツ団体などに対し、中学生の指導にも関わってもらえるよう働きかけるなど、新たな人材の発掘と確保に努めています。

また、国は令和13年度までに平日の活動も含めてすべての活動が地域で実施できるよう取り組みを進める方針を示しており、町においても今後の取り組みの方向性を定めたガイドラインを策定し、「地域展開」をさらに推進していく必要があります。今年度は、運動系部活動の指導者確保について注力するとともに、文化系部活動の「地域展開」を推進するために関係者と協議していきます。

地域展開を安定的に進めていくためには、なによりも指導者の確保が必要です。そのため、町においても「指導者登録制度」を創設しました。指導者資格を保有している人や過去に競技経験のある人など、子どもたちの指導や活動の支援に関心のある人は、ぜひ生涯学習課へお問い合わせください。

問 生涯学習課 ☎32-5086